

アンケート（案）の実施について

株式会社 NTT データ経営研究所

1. 目的

地方における医師不足等が指摘されている状況を踏まえ、地域医療の現状と、地域医療充実に資する遠隔医療技術の利用状況について、住民、行政、病院、行政に対し、調査を実施する。

2. 調査対象・調査数

対象	調査方法	調査対象数	抽出方法
①住民	医療機関等における配布	約 3000	条件不利地域の類型（過疎、辺地、離島、半島、山村、豪雪）ごとに実施市町村を一つずつ抽出【検討中】
②自治体（市町村）	質問紙による郵送調査	約 1800	条件不利地域に該当する市町村全て
③診療所	質問紙による郵送調査	約 1000 （抽出）	へき地診療所＋①で選定した地域の診療所
④特定機能病院・地域中核病院	質問紙による郵送調査	約 80 （全数）	全数
		約 400	2次医療圏毎に1病院ずつを目安に抽出 （地域支援病院、へき地医療支援病院を含む）

3. 調査実施時期

- ・平成20年4月 2日（水） 発送（予定）
- ・平成20年4月15日（火） ×切

4. 調査概要

①住民

- ・ 医療サービスの満足度
 - －医療機関への移動の状況
 - －近隣に医療機関がないことに対する不安感、必要と感じる医療提供体制
- ・ 遠隔医療について
 - －在宅健康相談、在宅健康管理、緊急通報についての利用状況、利用意向、自己負担可能額、利用による効果、利用にあたっての課題

②自治体

(市町村)

- ・ 地域医療サービスにおける課題
 - －一次診療体制、二次診療体制に対する課題
- ・ 自治体における地域医療充実のための取組
 - －医療サービス提供体制充実への独自の取組内容、その成果と課題
- ・ 遠隔医療について
 - －在宅健康相談、在宅健康管理、遠隔カンファランスの実施状況、実施による効果、実施にあたっての課題

③診療所

- ・ 診療の状況
 - －医師不足に関する課題
 - －在宅医療サービスの提供状況、課題
- ・ 遠隔医療について
 - －在宅健康相談、在宅健康管理、遠隔画像診断・遠隔病理診断、遠隔カンファランスの利用状況、利用意向、利用による効果、利用に当たっての課題

④特定機能病院・地域中核病院

- ・ 遠隔医療について
 - －遠隔画像診断・遠隔病理診断の実施状況・実施による効果、実施に当たっての課題

※ 参考

- 在宅健康相談
家にいながら、電話やメール、テレビ電話で、医師や看護師等による相談ができるサービス。
- 在宅健康管理
家にいながら電話やメール、テレビ電話で、医師や看護師による相談をするときに、血圧や血糖などの測定結果を送り、より詳細な相談が受けられるサービス。
- 緊急通報
急に倒れたときに、自動的に通報されるサービス。
- 遠隔画像診断、遠隔病理診断
読影、病理の専門医がいない医療機関が、遠隔地の医療機関の専門医に画像を送信し、診断支援を受けるサービス。

以上